

『気象現象』をやめて『大気現象』を使いませんか？ についての意見

伊藤久徳*

用語検討委員会（以下、用語委員会）の責任者をしている者です。本誌の2008年5月号に鈴木さんが『気象現象』をやめて『大気現象』を使いませんか？』と提案されています（鈴木 2008）。以前にも根本（1993, 1994）で同様の提案がされています[†]。実は用語委員会でもこの問題で少し議論したことがあります。そこでのおよその結論は「気象現象」という用語はなるべく避けようということでした。その際の議論は今回の問題の参考になると思います。またその後、私のほうで個人的に少し調べたこともありますので、それも含めて今回の議論に参加させていただきます。なおこの原稿は私個人の責任で提出したもので、用語委員会としての意見ではありません。その点、誤解のないようにお願いします。

気象という言葉が大気現象という意味を持っていること、従ってその意味のとき「気象現象」は基本的に二重に言葉を重ねたものになっていることは合意できると思います。ここまではほぼ鈴木さんと同じです。

ではなぜ「なるべく」という留保がついているかということです。ここからが鈴木さんと（たぶん）異なる点ですので、4点にわたって詳述します。

(1) 気象と大気現象（状態を含む）は同じ意味かという問題です。まず気象の語源を見ます。これはもともとは「宇宙の根元とその作用である現象」という意味のようです。日本国語大辞典第二版（2000）には、この意味での気象という言葉がすでに古事記にも使われていると書かれています。今でも広辞苑における気象の第一の意味はこちらになっています。その後、大自然の様子という意味や気性と同義の使われ方がされるようになり、ようやく明

治になって大気現象としての意味で使われ出したようです。日本国語大辞典には、物理学術語和英仏独対訳字書（1888, 山口鋭之助）に meteor の訳として、気象が当てられている例を示しています。同様に meteorology の訳として気象学が当てられたのでしょう。ここから推測できることは、和語として大気現象と同じ意味で気象という言葉があったのでもなく、大気現象をつづめて気象としたのでもないということです。あくまで気象は meteor の訳として当てられ、meteor が大気現象の意味なので、気象は大気現象という意味を持つようになったということです。

語源の違いを反映して、気象と大気現象は今でも違った意味とニュアンスを持っているものだと思います。典型的には「気象が好き」という言葉で、これは「大気現象が好き」とは明らかに異なります。例えば、前者には天気図を描くのが好きという意味も含まれますが、後者には含まれません。このように気象と大気現象は意味が異なり、前者が基本的に広い意味を持っています。もし気象が現象のみを表す言葉なら、「気象現象」という言葉は誰が聞いても違和感のある言葉だったでしょう。しかしそうではないので、違和感なく使われているのだと思います。

（ここは気象と大気現象は必ずしも同じ意味ではないと述べているので、鈴木さんの主張「気象現象という言葉はやめましょう」とは論点が異なるかもしれない。しかし気象は大気現象と同じ意味であるとか、大気現象をつづめたものであるという主張がされることがあるので、あえて書いてみました。）
(2) 上と関係して、「気象現象」という用法もあり得

* 九州大学大学院理学研究院。

© 2008 日本気象学会

[†] 山岸米二郎さんに教えていただきました。

るのではないかという意見もあります。例えば物理現象や水文現象という言葉はごく普通に使われます。それらは物理学や水文学という学問分野を表す言葉と密接に関係しています。この流れで、学問分野の名称から学を取り（取らないものもありますが）、現象という言葉が付けるという言葉の使い方はごく自然です。このような流れで「気象現象」がかなり普遍的に使われるようになったものと思います。

ニュアンスとしては、「気象学で扱う現象」というような感じでしょうか。少し揚げ足取的な議論になるかもしれませんが、気象学で扱わない大気現象があるかもしれないことを含意しています。例えば、ずっと上空で起こる現象や、ある特定の物体（自動車や飛行機など）の回りの空気の流れなどがそれに当たるかもしれません。また、大気中で必ずしも生起するものではないが、気象学で扱う現象というものもあります。例えば、地表面温度、積雪、霜など地表面での過程がそれに該当するでしょうか。

さらに英語には meteorological phenomenon という言葉があります。これは atmospheric phenomenon とは文字的に完全に区別できる言葉です。これと同じことで、大気現象とは別に「気象現象」という言葉があっていいのではないかということです。

以上のように、大気現象と「気象現象」とは区別できる言葉ではないかという考えもあり得ます。

- (3) もうひとつややこしいのは「大気現象」には気象庁で用いられている特別な意味があるということですが。例えば地上気象観測指針（気象庁 2002）の第11章では「大気現象は、『大気水象』・『大気塵象』・『大気光象』および『大気電気象』に大別される」とされており、これらの総称を「大気現象」とよぶことになっています。この意味で使うとき、これら以外の気象は「大気現象」ではないということになります。ただこれは気象庁特有の言葉なので、ここでの問題とはまったく別個のものであるという考えも成り立つと思われる。

（一方で、気象庁に係する規則の中には、大気現象と区別するためでしょうか、「気象現象」という用語も用いられているそうです。気象官署予報業務規則第二十八条や気象官署観測業務規程第五条など^{*)}。）

- (4) 最後に指摘したいのは、誤用か・誤用でないかというのは時代によって変わるということです。ある

グループが意識して使わないようにしても、一般に使われるようになることはよくあります。このとき誤用であるとして、ひとつひとつ訂正を要請するかどうかは難しい判断になります。科学的な誤りならば、当然そのようにすべきです。しかし言葉の使われ方は時代にまかすべきであるという意見もあり得ます。Googleでのヒット数で見ると（2008年6月6日現在）、大気現象が12,200であるのに対し、気象現象は84,400ともうすでに後者が圧倒しています。完全に認知されているという見方もできます。

以上のような理由から、私は「気象現象」という言葉はなるべく避けるというのが現時点で合意できる内容ではないかと考えています。「気象現象」という言葉はあってはならないとか、絶対使わないようにしようというのは少し過激に過ぎるのではないかと思います。「なるべく」というニュアンスは、大気現象と完全に言い換えられるところでは「気象現象」ではなく大気現象を使うべきであると考えてる一方で、上述のような意味で「気象現象」のほうが適切な場合もあるかもしれないという認識も併せて持っているということです。

なお以上とは基本的に別の話ですが、密接に関係していますので、ついでに書かせていただきます。2点ありますが、どちらも用語委員会からのお願いです。

気象学会のホームページには気象学用語集というページがあり、用語委員会が作成しています。現時点ではまだ一部しか完成していませんが、将来はかなり包括的な用語に関するページにしたいと思っています。現時点で利用可能である基本用語集には当然ながら「気象現象」という言葉はありません。しかし今後作成予定の全用語集では meteorological phenomenon という用語が採録されており、それには「気象現象」という訳をあてる原案になっています。この用語を採録しないという選択肢もあり得るのですが、この全用語集は気象関係の本や論文で見られる用語（気象用語以外にも含めて）を包括的に採録するという方針でやっており、現時点では採録する予定になっているものです。これについてご意見がおありの場合は以下のメールアドレスまで届けていただければ検討したいと思います。

itoh@weather.geo.kyushu-u.ac.jp（伊藤久徳）

^{*)} 山田眞吾さんに教えていただきました。その他の点でもコメントをいただきました。

さらに用語委員会では、同じホームページに「使用において注意を要する用語」というページも作成する予定をしています。ここではしばしば誤用されたり、注意して使用してほしい用語などを採録し、注意を喚起する方針です。「気象現象」という用語も取り上げたいと思っています。ここでもこのように書けばいいのではないかという提案をしていただければと思います（なぜ注意を要するのかを納得してもらえるように、ひとつひとつの項目をある程度長く書く予定です）。またそのページに取り上げてほしい他の用語を提案していただくことも歓迎します。他の用語の例としては、まったくの私案の段階ですが、使用しないよ

うにという意図での「可航半円」や、しばしば誤用されるということで「Ferrel 循環」、気象学的実体の乏しい「揚子江気団」などを考えています。

参 考 文 献

- 気象庁, 2002: 地上気象観測指針. 気象庁.
根本順吉, 1993: “気象現象” という表現について. 天気, 40, 532.
根本順吉, 1994: “気象現象” 論・補遺. 天気, 41, 224.
日本国語大辞典第二版編集委員会, 2000: 日本国語大辞典第二版. 小学館.
鈴木啓助, 2008: 「気象現象」をやめて「大気現象」を使いませんか? 天気, 55, 439.